

# ふれあい新聞

第50号 平成11年4月1日 一田中野田町内会一

## 夢をかなえて下さりありがとう

御南中学校長 楠田 廉

今を去ること6年前、私ごとではあるが、第二の故郷に骨を埋めたいとの熱い思いを抱いて、御南中学校へ赴任しました。それは、ご当地からほど近い大元新屋敷が母親の出所で、幼児の頃はむろんのこと、小・中学生時代にも長期休業中は、ほとんど新屋敷で暮らしていたからです。

当時は、南西方向に見渡すかぎり水田が広がり、東には宇野線をばく進するSLの勇姿を眺め、夜になると北にある機関庫から、SLを操作する音が一段と冴え、心地好い眠りを誘ってくれました。川面には箱舟が行き交い、本当にのどかな田園地帯でした。岡山空襲の際投下された焼夷弾の葉きょうをプチゴマにして遊んだこと、当時大発生したザリガニをバケツ一杯釣上げたことや、手作りの道具を持ち寄り、日が暮れるまで草野球に遊びほうけたことなど、忘れ難い思い出となっています。

そんな思いで赴任したものの、区画整理等により地域の様子は一変していました。世は車社会となり、正門前で接触事故があいつぎ、生徒が巻き添えに合わなければと心配しました。和気町内会長様にもお力添えをいただき、横断歩道の設置がかない、事故もなくなりました。以来、プール・運動場・校舎・通学橋・体育館の改築改修工事が毎年のようにあり、騒音・振動・土埃などで、ご町内の皆様方には、大変ご迷惑やご不便をおかけいたしました。また、雑木が繁茂し粗大ごみの捨て場にされて、痴漢騒動があるなど近寄りがたかった笹ヶ瀬川の河川敷も、少しづつ手を加えて綺麗にしていたところ、年二回のクリーン作戦行事として定着し、町内会長様ご夫妻をはじめ、町内有志のご参加もいただけるようになるなど、教員生活の終わりになって、やりたいことをやりたいようにやらせていただだけ、本当にありがとうございました。

大久保定雄様(6組)より香典返しとして、町内会へ金一封をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

わが郷土を語る(38)

中尾 佐之吉

「ふれあい新聞」50号の発行によせて  
(創刊時からの12年間を顧みる)

(1)はじめに

かつて、「ふれあい新聞」40号の発行の際は、創刊のいきさつを述べさせてもらったので、今回はこの新聞最初の発行の年(昭和62年)に始まった田中野田土地区画整理をはじめ、周辺の土地区画整理によりすっかり変わってしまったこの地域のことを書かせてもらおうと思う。

(2)この地区の世帯数や事業所が急増する

昭和62年の田中野田の世帯数は260であったが、現在は500を越えている。まさに倍増である。また、田中野田の事業所数も、昭和62年には14に過ぎなかったのが、現在は63に急増している。

【参考】戦前の昭和6年(私のこどものとき)の旧今村(上中野・下中野・今村・中仙道・西長瀬・田中・辰巳・平田の地区を含む)の世帯数が510であったことを思うと、隔世の感を覚える。

(3)統合して生まれた西小の学区がつつぎに分離する

複数学級でなければよい教育ができないと、昭和34年、今・白石両小学校がわりやり統合させられて西小学校が生まれた。(当時の児童数789)それが昭和48年大元小学校が創設されて、西学区のうち上中野・下中野地区がその学区へゆく。また、昭和55年には西学区の白石地区が新設の陵南学区へ分離される。そしてさらに、昭和62年、1500を超える児童数をもつ西小は、平成2年に通学区域設定審議会が設けられ、西小のさらなる分離が協議されるのである。そして遂に平成6年西小の学区のうち西長瀬・田中・久米・今保地区を学区とする御南小学校が誕生した。

(4)公共施設の整備充実がなされる

土地区画整理により6m(一部4m)以上の道路が縦横にはりめぐらされたがその他に

イ)排水ポンプが設けられる

田中野田の区画整理事業の始まるに当たって当地区が旭川水系の末端で浸水対策のため排水ポンプ設置が急務として市に要求し、辰巳水門へ口径800ミリの排水ポンプを設置してもらう。(その後、平田地区に口径1500ミリを2基設置の大型排水場が設けられた。)

ロ)下水道が敷設される(都市ガスも)

区画整理の道路新設工事に併せて下水道工事も同時施工されることを市に要望したところ、早速ことが運ばれて、平成5年には当地区で供用開始となった。このことは西学区で最初のことである。

(昭和初期、旧今村で上水道敷設が計画されたとき、経費の負担に耐えられないと、村民の大々的な反対運動が起きたことを思い出し、感慨深いものがある。)

ハ)公園が整備される

田中野田の区画整理で町内の3カ所に公園(合わせて7544㎡)が整備された。また今土地区画整理で設けられた辰巳西公園(6244㎡)も完

備され町内で利用している。

ニ)その他にも

平成7年には田中野田の新公会堂が完成したし、平成8年には待望の御南西公民館が設置された。そして、御南学区の中央を流れる笹ヶ瀬川に御南大橋が架設され平成10年12月に全面開通する。

(5)むすび

10年ひと昔というが、この12年、変貌した田中野田のことはいくら書いても書ききれないわけで、この際はこの程度で許してもらうことにする。しかし最後に、つぎのことをとくに書き添えておきたい。ある日、町内の公園のトイレに行った。トイレは掃除がゆきどいて気持ちがいい。そして花瓶が置かれ美しい花が添えられているではないか。私は、町内の方が公共の施設を大切にされ、その美化を気遣うおゆかしさに、深い感銘を受けた。

私はこのような多くのよき隣人の集う「田中野田」を誇りに思うのである

## 平成11年度 町内会の主な行事

4月11日(日) 県議会議員選挙

25日(日) 市議会議員選挙

29日(木・祭日) 町内会定期総会(於:公会堂)

5月 春のクリーン作戦

8月 夏まつり

9月 秋のクリーン作戦

10月9・10日(土・日) 白鬚宮秋まつり(田中野田当番)

12月5日(日) 親善グランドゴルフ大会

本紙は節目の50号になりました。昭和62年の創刊以来12年間(季刊)1回の休みもありません。この間関係者各位のご尽力に対し、感謝申し上げる次第です。今回50号の発行にあたり、御南中学校長楠田先生と本紙の刊行に尽力された前会長中尾佐之吉さんに、特に寄稿していただきました。なお、楠田先生は3月末で定年退職されました。ご両人に厚くお礼を申し上げるとともに、今後もご指導をお願いします。40号(昭和8.10.1刊)には本紙創刊当時のいきさつなど、中尾さんの思い出の記事がありますので、ぜひ50号と併読をおすすめします。

今後さらなる発展のため、皆様から建設的な意見やアイデアをお寄せくださるようお願いいたします。(編集子)